



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

平成30年度小諸市 民生児童委員協議会総会開催

4月25日(水)午後1時30分より「ベルウインこもろ」に於いて、平成30年度民生児童委員協議会総会が開かれました。

開会のことばに引き続き、民生委員の歌、並びに民生委員・児童委員信条を全委員で唱和し心を新たにしました。

荒野会長挨拶の中では、宮沢賢治の詩『雨にも負けず』のお話をされ、自分のことだけを考えるのではなく、他人を思いやって生きていく素晴らしさを説かれ、全委員、気の引き締まる思いに至ったのではないのでしょうか。

来賓の小泉市長、林市議会議員長、小林教育長、細谷社協会長の皆様からそれぞれ祝辞を賜り、議長選出後、議事の審議に入りました。平成29年度事業報告について担当理事より全体会、

荒野会長の挨拶



理事会の実施報告があり、また部会においては各部会長より実施報告が行われました。その中で、昨年度の活動実績の集計報告があり、全体の活動日数は15725日、1人当たり平均142日に上り、委員の活動が日々地道に行われている証であると思われました。平成29年度決算報告については、事務局より内容説明があり、その後、監事より監査報告が行われ、事業

報告並びに決算報告ともに承認されました。

平成30年度事業計画について、担当理事より30年度スローガンとして「愛の手で、この手で支える、住みよい地域」が発表され、これをもとに活動方針、活動の11項目の説明があり、また各部会より本年度の活動方針が示されました。

平成30年度予算について事務局より内容説明があり、事業計画並びに事業予算ともに承認され閉会となりました。

その後、別会場において懇親会が行われ、小諸市の内堀民生部長より各部署の担当者の紹介があり、担当者とのコミュニケーションがはかられ有意義な1日となりました。

一番近い相談相手 事例を省みて

東南部地区
民生児童委員

1、ある日、車椅子を使用中の地域の方から、部品

交換を依頼された時のことです。

作業終了後、確認してもらい「とても調子良い」との返事でした。交換は、ブレーキバー一对の安全装置であった為、心配になり厚生課で確認したところ「修理等は最寄りの専門業者で対応できます。今後は情報として連絡を願いたい」旨の返事でした。

2、一人暮らしの地域の方から「先々の不安から有料老人ホームへ入居したい。資料は入手できないか」と、相談を受ける。

地域包括支援センターに行く、資料もあり、訪問して相談も可能であることが判り、その旨を希望者に伝えたところ、安心され大変喜んでおりました。

小さな不安や心配も関係窓口や、地域包括支援センターでも誠実に対応してくれ、今後の活動の中で迷う場合など、積極的に活用する事の大切さを知る機会となりました。